

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書			
物品番号	仕 様 書 番 号		
重物料地上落下試験シミュレーション 役務	需学研 - 8		
	防衛大臣承認	年 月 日	
	作 成	令和 3年10月 7日	
	変 更	年 月 日	
	作成部隊等名	需品学校研究部	

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊需品学校において実施する重物料地上落下試験シミュレーション役務(以下、“シミュレーション”という。)について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書に用いる用語及び定義は、次によるほか、GLT-CG-Z000001による。

1.2.1

梱包

この仕様書においては、火砲・車両等の装備品に落下傘を装着し、自衛隊で保有する輸送機から投下(空投)して安全に降着させるための専用器材(重物料投下器材)を使用した梱包をいう。

1.2.2

空投物料

この仕様書においては、試験対象装備品(以下、“対象装備品”という。)をいう。

1.2.3

空投梱包

空投物料を梱包したものをいう。

1.2.4

重物料地上落下試験

開傘した落下傘に吊り下げた空投梱包が地上に降着することを想定し、地上においてクレーン等によって空投梱包を吊り上げ、吊り上げた空投梱包を空中で切り離して、着地衝撃の計測、梱包要領の検証などによって、対象装備品を空中投下するために必要なデータを収集することをいう。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 仕様書

GLT-CG-Z000001 陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

b) 法令等

GQ-000001 需品器材等一般検査等実施要領

2 役務に関する要求

2.1 対象装備品

シミュレーションの対象装備品は、軽装甲機動車、高機動車、1 1/2 tトラック、120 mm迫撃砲RT、1 tトレーラ、1 t水タンクトレーラの6品目とする。

2.2 役務の内容

役務の内容は、次によるほか、調達要領指定書により指定する。

- a) 1.2.4 で示した試験要領に基づいた空投梱包の斜面などにおける転倒発生状況のシミュレーション
- b) 2.2 a)で得たデータの解析結果をとりまとめた“報告書”の官側への提供（注1）
（注1） 電子データ及び書面とする。

3 品質保証

3.1 監督・検査

監督及び検査は、GQ-000001による。

4 その他の指示

4.1 保全

保全は、次による。

- a) 松戸駐屯地の立入りに際しては、警衛所において所定の立入手続を行うものとする。
- b) 契約の相手方は、本契約の履行に当たり、直接又は間接に関わらず知り得た事項の管理に万全を期すとともに、別途利用その他への公表等は防衛省の承認なく行ってはならない。また、本契約終了後も同様とする。

4.2 その他

その他は、次による。

- a) 新型コロナウイルスの感染症予防対策として、松戸駐屯地の立入りに際しては、契約の相手方が準備したマスクの着用、適宜の手指の消毒を実施する他、立入りの2週間前から体温を計測し、37.0度以上の熱発が一度でもあった者の立入りを禁止する。
- b) 官側の電気及び水は、原則として使用しないものとし、やむを得ず使用する場合は有料とし、事前に諸手続きを実施する。

4.3 仕様書に関する疑義

仕様書の内容について疑義が生じた場合は、GLT-CG-Z000001の8.3による。

調達要領指定書	調達要求番号	1L201AS2522
	調達要求年月日	令和3年10月7日
	作成部課	陸上自衛隊需品学校研究部
	作成年月日	令和3年10月7日
品名	重物料地上落下試験シミュレーション役務	
仕様書番号	需学研 - 8	

指定事項：作業項目等を下記のとおり指定する。

1 作業項目

項目	作業の概要
プラットフォームモデル作成	プラットフォームの形状の再現
地面モデル作成	降着地域の地盤の形状の再現
BASEモデル計算条件設定	重量, 重心位置, 落下速度, 斜面の角度 (最大35度) 等の基本となる条件の定義
試行計算・検証	計算の妥当性の検証
BASEモデル結果抽出	結果処理用フォーマットの作成及び読取
案別計算実施及び結果抽出	条件変更及び読取
報告書の作成	解析結果のまとめ

2 報告書に含める事項

報告書の作成に当たっては, 想定する降着地域の地盤の傾斜角を横軸, 地耐力を縦軸として両値の相関関係を視覚化したグラフを含めるものとする。

指定事項：報告書の提出期限等下記のとおり指定する。

1 提出期限

令和3年12月17日 (金) 1700まで

2 様式

紙媒体3部, CD-R1枚

3 提出先

松戸駐屯地需品学校研究部
細部は官側との調整による。